

2020年度 授業シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 コミュニケーションゲームを通して、人と話すのに必要な力を身につける							
【到達目標】 個人個人のコミュニケーション能力の向上を目的とする。							
【教員の略歴】 芸能プロダクション所属 俳優・お笑い・ラジオDJなどマルチに活動							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	自己紹介			①	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
②	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			②	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
③	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			③	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
④	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			④	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
⑤	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			⑤	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑥	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑥	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑦	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑦	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑧	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑧	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑨	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑨	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑩	前期試験			⑩	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑪	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑪	後期試験		
⑫	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑫	コミュニケーションゲーム(伝えたいトーク)		
⑬	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑬	コミュニケーションゲーム(伝えたいトーク)		
⑭	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑭	コミュニケーションゲーム(伝えたいトーク)		
⑮	前期まとめ			⑮	振り返り		
準備学習 時間外学習	本をたくさん読んでください。			評価方法	試験・出席率・授業態度・課題		
受講生への メッセージ	難しい事はやりません、楽しくフリートークを学んでいきましょう			使用教科書 教材 参考書	ホワイトボード		

2020年度 授業シラバス

科目名	ヴォイス&ボディトレーニング	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 発声の為の身体訓練…ストレッチ・筋肉トレーニング・中心呼吸・身体の姿勢とバランストレーニング							
【到達目標】 ・自身の身体を知り、表現者として芝居(演技・発声)に必要な身体の土台を作る。							
【教員の略歴】 プロのアーティストとして様々な作品に出演。演出などを手掛けている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	身体の説明 ①骨格説明	①	身体の創作 ペアコンタクト
②	身体の説明 ②筋肉説明	②	身体の創作 ペアコンタクト
③	呼吸の説明 ①腹式説明	③	身体の創作 グループコンタクト
④	呼吸の説明 ②腹式チェック	④	身体の創作 グループコンタクト
⑤	身体の訓練 ①アイソレーション・ウォーキング	⑤	ダンスのワーク コンビネーション
⑥	身体の訓練 ②ストレッチ・ウォーキング	⑥	ダンスのワーク コンビネーション
⑦	身体の訓練 ③筋肉トレーニング・ウォーキング	⑦	ダンスのワーク コンビネーション
⑧	動きのワーク エクササイズと発声	⑧	ダンスと歌 歌いながら踊る
⑨	動きのワーク エクササイズと発声	⑨	ダンスと歌 歌いながら踊る
⑩	動きのワーク エクササイズと発声	⑩	ダンスと歌 歌いながら踊る
⑪	発声・姿勢・体重移動チェック	⑪	発声・ダンスコンビネーション
⑫	リズムのワーク ビートトレーニング・Barレッスン	⑫	身体と言葉の創作
⑬	試験	前期試験	⑬ 試験 後期試験
⑭	リズムのワーク ステップとの組み合わせ・Barレッスン	⑭	身体と言葉の創作
⑮	リズムのワーク ステップとの組み合わせ・Barレッスン	⑮	身体と言葉の創作
準備学習 時間外学習	各自、腹筋と背筋・ストレッチ	評価方法	試験、出席率、授業態度、取り組み方。毎回の課題習得度を総合的に評価します。
受講生への メッセージ	スカート不可、ストレッチが可能で身体のラインが見える服装 シューズは無し	使用教科書 教材 参考書	バーレッスンのため、バレエBar 各自すべり止め付の靴下 身体のラインが見える服装

2020年度 授業シラバス

科目名	声優演習	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 声で感情表現、コントロールの技術を訓練し、より豊かな表現力を身につける。							
【到達目標】 ・常に主体性を持ち、あらゆるシーンに対応できる表現力の向上。							
【教員の略歴】 劇団・芸能プロダクションに所属し役者として活躍中。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション／感情開放・コントロールについて／エチュード	①	台本を使ったセリフ表現1
②	感情を表現すること	②	台本を使ったセリフ表現演技2
③	セリフから感情表現	③	台本を使ったセリフ表現演技3
④	感情開放	④	台本を使ったセリフ表現演技4
⑤	感情開放	⑤	台本を使ったセリフ表現演技5
⑥	感情開放	⑥	様々な台本での対応
⑦	感情をコントロールする	⑦	様々な台本での対応
⑧	感情の切り替え	⑧	様々な台本での対応
⑨	複雑な感情表現	⑨	様々な台本での対応
⑩	複雑な感情表現	⑩	様々な台本での対応
⑪	テスト	⑪	テスト
⑫	感情コントロール 表現	⑫	様々な台本での対応
⑬	感情コントロール 表現	⑬	様々な台本での対応
⑭	感情コントロール 表現	⑭	まとめ
⑮	前期 まとめ・復習	⑮	総評
準備学習 時間外学習	必要に応じて、指定個所のセリフを覚えてもらう場合があります。	評価方法	学期ごとの試験、また授業中の取り組む姿勢、出席率。
受講生への メッセージ	感情を声に表現することは、なかなか難しいと思います。最初から上手くやろうとせず、素直に感情を表現するところからスタートです。	使用教科書 教材 参考書	筆記用具・台本(コピーしたものを配布)

2020年度 授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アテレコの実践 ・マイクを効果的に使った表現方法 ・発声滑舌 ・キャラクター作り ・台本読解 ・スタジオマナー 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。 ・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。 ・即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
東京：声優プロダクションにて声優、マネージャーとして活動。 大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	アテレコ用語・マイクワークの習得		①	アテレコ③・実習	
②	アテレコ①・キャストイングオーディション		②	アテレコ③REC	
③	アテレコ①・読み合わせ		③	アテレコ③REC	
④	アテレコ①・実習		④	アテレコ③(キャスト変更)・実習	
⑤	アテレコ①・REC		⑤	アテレコ③REC	
⑥	アテレコ①・REC		⑥	アテレコ③REC	
⑦	アテレコ②・キャストイングオーディション		⑦	アフレコ①・キャスト発表	
⑧	アテレコ②・実習		⑧	アフレコ①・実習	
⑨	アテレコ②・REC		⑨	アフレコ①・実習	
⑩	前期試験		⑩	アフレコ①・REC	
⑪	アテレコ②・REC		⑪	後期試験	
⑫	アテレコ③・キャストイングオーディション		⑫	アフレコ②・キャスト発表	
⑬	アテレコ③・読み合わせ		⑬	アフレコ②・実習	
⑭	アテレコ③・実習		⑭	アフレコ②・REC	
⑮	前期 復習		⑮	アテレコ・アフレコ総括	
準備学習 時間外学習	アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。 一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習していく事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。	評価方法	試験・各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それでは対しどのレベルまで達成できているかで採点する。		
受講生への メッセージ	長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典 『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下記録音機材を使用 (R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本) 記載のない日は機材の準備の必要なし		

2020年度 授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 舞台を制作から出演まで自分たちで考えて実践する							
【到達目標】 舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる							
【教員の略歴】 舞台俳優・脚本・演出の仕事をして26年。現在は劇団の代表も務める							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	舞台制作から発表までを企画する	①	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター(撮影2)	
②	舞台発表にむけて(台本の読み合わせ)	②	舞台 課題作品 制作ミーティング	
③	舞台発表にむけて(キャストオーディション)	③	舞台 課題作品 本読み	
④	舞台発表にむけて(読み合わせ・稽古)	④	舞台 課題作品 キャストオーディション	
⑤	舞台発表にむけて(本格的な稽古に入る)	⑤	舞台 課題作品 稽古・シーン1～3	
⑥	舞台発表にむけて(各シーンごとに稽古)	⑥	舞台 課題作品 稽古・シーン4～6	
⑦	舞台発表にむけて(前半の通し稽古)	⑦	舞台 課題作品 稽古・シーン7～10	
⑧	舞台発表にむけて(後半の通し稽古)	⑧	舞台 課題作品 パート別レッスン	
⑨	舞台発表にむけて(リハーサル)	⑨	舞台 課題作品 稽古・シーン11～13	
⑩	舞台発表にむけて(ゲネプロ)	⑩	舞台 課題作品 稽古・シーン14～16	
⑪	舞台発表・本番	⑪	舞台発表 通し稽古	
⑫	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター	⑫	舞台発表 リハーサル 試験	後期試験
⑬	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター(リハ) 試験	前期試験	⑬	舞台発表 ゲネプロ
⑭	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター(リハ)		⑭	舞台発表 本番
⑮	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター(撮影1)		⑮	総評
準備学習 時間外学習	たくさん芝居を観てください。	評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します	
受講生への メッセージ	芝居のことばかり考えている、そんな一年にして下さい。	使用教科書 教材 参考書		

2020年度 授業シラバス

科目名	オーディション対策	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 自己プロデュース能力を高め、声優・役者・タレントとしての自分の魅力を、客観性を持ちながら戦略的に伝える術を身につける。 また、一人ひとりの個性を活かしより豊かな自身の形成の為、何が必要か、何が足りていないかを自覚し身につけていくための習慣を考え、実践する。							
【到達目標】 ・自分のセールスポイントや強みを認識し、伸ばす。・様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。 ・オーディションに向け、ボイスサンプル・プロフィール作成・コンボジ対策・面接対策を行う。							
【教員の略歴】 東京：声優プロダクションにて声優、マネージャーとして活動 大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	新人発掘プレゼンテーション対策①		①	合同オーディション実技・自己PR②	
②	新人発掘プレゼンテーション対策②		②	合同オーディション実技・自己PR③	
③	新人発掘プレゼンテーション反省		③	合同オーディション実技・自己PR④	
④	ボイスサンプルについて		④	合同オーディション反省・進路相談	
⑤	ボイスサンプル実習		⑤	3次オーディション対策・進路相談①	
⑥	ボイスサンプル原稿作成・実習①		⑥	3次オーディション対策・進路相談②	
⑦	ボイスサンプル原稿作成・実習②		⑦	卒業後の住まい・生活(東京の地理など)	
⑧	ボイスサンプル原稿作成・実習③		⑧	3次オーディション対策・進路相談③	
⑨	ボイスサンプル原稿作成・実習④		⑨	さまざまなオーディション実習①	
⑩	ボイスサンプル原稿・音源提出		⑩	さまざまなオーディション実習②	
⑪	ボイスサンプル実習	前期試験	⑪	オーディション 模擬試験	後期試験
⑫	自己分析・応募書類の書き方①		⑫	さまざまなオーディション実習③	
⑬	自己分析・応募書類の書き方②		⑬	さまざまなオーディション実習④	
⑭	合同オーディション実技・自己PR①		⑭	社会人としてのマナー	
⑮	前期 まとめ		⑮	卒業後に向けて	
準備学習 時間外学習	自己PR、ボイスサンプルともに、早め早めの準備を。 随時学内オーディションに対応するので、該当学生は下読みなどしてくる事。		評価方法	実習での取り組み姿勢 提出物の内容、期限内提出 発表内容 出席率 試験	
受講生への メッセージ	今のあなたの中からしか、今のあなたしかないものは生まれません。 とにかく何か考えて作ってみて下さい。中途半端でも不細工でも構いません。そこから、一人一人がより良い形を作れるようにしていきましょう。		使用教科書 教材 参考書	原稿作成や、自己PR案相談中は個々の対応時間が多くなる為、各自自習や原稿作成の材料などを用意して時間を有効活用すること。	

2020年度 授業シラバス

科目名	ナレーション	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
ナレーションは声そのものを磨くボイストレーニングと、その声でどう読み方をするかという技術を身に付ける事が大切です。ナレーションに必要なアナウンスの基礎を講義と実践を通して学びます。特に伝える技術を中心にして講義します。そして、声の高低、強弱、緩急を操り、表現するという面白さを学びましょう。また、標準語アクセントの習得、及び、国語力の習得を目指した「話す」ということを1年間を通して学んでいきます。							
【到達目標】							
ニーズに合わせたナレーションが読めるようになる。							
【教員の略歴】							
フリーアナウンサーとして活動。主にラジオのニュースやケーブルテレビの司会を長く務める。また、式典から各種イベントまで、様々なMCも経験。アナウンサーや声優などの講師も務める。近年では子供のアクティブラーニングから、大人のボイストレーニング・話し方まで、その幅を広げている。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・アクセント辞典の使い方		①	レポート・MC台本①	
②	ボイストレーニング①・基礎理論①		②	レポート・MC台本②	
③	ボイストレーニング②・基礎理論②		③	ドキュメンタリーナレーション①	
④	ボイストレーニング③・基礎理論③		④	ドキュメンタリーナレーション②・音楽に合わせて	
⑤	ボイストレーニング④・基礎理論④		⑤	朗読・群読①	
⑥	お知らせ・告知ナレーション①・天気予報		⑥	朗読・群読②	
⑦	お知らせ・告知ナレーション②		⑦	朗読・群読③	
⑧	20秒CM練習①		⑧	番組ナレーション①	
⑨	20秒CM練習②		⑨	番組ナレーション②	
⑩	アナウンス基礎の確認・実技テスト	前期試験	⑩	番組ナレーション③	
⑪	ニュースの基礎①・ショートニュース①		⑪	ニュースのまとめ・実技テスト	後期試験
⑫	ニュースの基礎①・ショートニュース①		⑫	手紙・挨拶①	
⑬	ニュースの基礎②・ショートニュース②		⑬	手紙・挨拶①	
⑭	ニュースの基礎②・ショートニュース④		⑭	手紙・挨拶③	
⑮	話題・スポーツニュース		⑮	1年のまとめ・DVD鑑賞	
準備学習 時間外学習	ストレッチや発声など、毎日少しずつでも良いので習慣にしてください。またテレビやラジオなど、意識して聞いてください。アクセントなど、疑問に思ったら、すぐに調べる事が大切。		評価方法	出席・授業態度、実技試験で評価します。	
受講生への メッセージ	ナレーションの基礎は「話す」ということにあります。友達と話すとき、アルバイト先で話すとき、常に意識して美しい日本語を使いましょう。まずはプロになる自覚、意識を持つことです。		使用教科書 教材 参考書	NHKアクセント辞典・基礎プリント(坂下オリジナル、約15枚組)	

2020年度 授業シラバス

科目名	ラジオパーソナリティー	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ディレクターの指示の理解、対応力、原稿の読解力、それぞれの個性を生かした読み方、テクニックなど、基礎力+応用力で音声だけのラジオに合わせた表現力をつける。							
【到達目標】 ラジオパーソナリティーとしての即戦力となる技術を身につける。							
【教員の略歴】 AMやFMパーソナリティを歴任、ラジオCMナレーションも多数出演。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション(概要説明)	①	ラジオパブ①(原稿読み)
②	ラジオコマーシャル全体①(主観で聴く)	②	ラジオパブ②(表現力)
③	ラジオコマーシャル全体②(表現について)	③	ラジオパブ③(客観的に聴く)
④	ラジオコマーシャル全体③(表現・技術)	④	ラジオパブ④(自己分析・評価)
⑤	ラジオコマーシャル全体④(自分で作る)	⑤	ラジオパブ⑤(統括・実習)
⑥	ラジオコマーシャル全体⑤(評価・発表)	⑥	ラジオショッピング①(原稿読み)
⑦	ラジオCM①(原稿読み)	⑦	ラジオショッピング②(表現力)
⑧	ラジオCM②(表現力)	⑧	ラジオショッピング③(客観的に聴く)
⑨	ラジオCM③(客観的に聴く)	⑨	ラジオショッピング④(自己分析・評価)
⑩	前期試験	⑩	ラジオ全体(自己評価・他人評価)
⑪	ラジオCM④(自己分析・評価)	⑪	後期試験
⑫	ラジオCM⑤(統括・実習)	⑫	フリートーク 実践
⑬	ラジオ全体(課題・実習)	⑬	フリートーク 実践
⑭	ラジオ全体(発表)	⑭	ラジオ全体(自己評価・他人評価)
⑮	前期 復習	⑮	まとめ(全体統括・実習)
準備学習 時間外学習	滑舌の練習を毎日してください。	評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します。
受講生への メッセージ	常にラジオを聞いて耳を鍛えてください。	使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典

2020年度 授業シラバス

科目名	ラジオドラマ	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 グループに分け、模擬番組を作成&授業内で発表、総括する。							
【到達目標】 実際に15分から60分の番組ドラマを制作し、ラジオドラマ制作におけるスタジオワークを学んでもらう。							
【教員の略歴】 現在、FM局にて数々の番組を担当し、ディレクターとして活躍。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	自己紹介、番組概要説明 など			①	ラジオドラマ制作① 企画		
②	模擬番組制作① 企画			②	ラジオドラマ制作①		
③	模擬番組制作①			③	ラジオドラマ制作① リハーサル		
④	模擬番組制作① リハーサル			④	ラジオドラマ制作① 発表		
⑤	模擬番組制作① 発表			⑤	ラジオドラマ制作② 企画		
⑥	模擬番組制作② 企画			⑥	ラジオドラマ制作②		
⑦	模擬番組制作②			⑦	ラジオドラマ制作② リハーサル		
⑧	模擬番組制作② リハーサル			⑧	ラジオドラマ制作② 発表		
⑨	模擬番組制作② 発表			⑨	ラジオドラマ制作③ 企画		
⑩	模擬番組制作③ 企画			⑩	ラジオドラマ制作③		
⑪	模擬番組制作③ 試験		前期試験	⑪	ラジオドラマ制作③ リハーサル 試験		後期試験
⑫	模擬番組制作③ リハーサル			⑫	ラジオドラマ制作③ 発表		
⑬	模擬番組制作③ 発表			⑬	ラジオドラマ 総評・アドバイス		
⑭	模擬番組 総評・アドバイス			⑭	1年間を振り返って		
⑮	前期のまとめ			⑮	プロの現場について		
準備学習 時間外学習	たくさんさんの番組に触れてください。			評価方法	番組制作を通じての評価はもちろん、チームワークを必要とする作業も多いので、試験や出席日数や連絡の有無、授業態度も評価対象とします。		
受講生への メッセージ	実践重視の授業です。様々なことを学んでいきますが、「プロの現場」と「授業で学ぶ内容」は同じことが多いので、卒業後、即戦力になるためにも高い意識を持って臨んでほしいです。			使用教科書 教材 参考書			

2020年度 授業シラバス

科目名	MC&レポート・実況	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 マイクを使用した実技。職業として言葉を駆使する。物語を読み解くということ。							
【到達目標】 ・MCとして、現場に応じた状況判断をして、円滑に進行を行えるスキルの習得。 ・実践で活かせる、正しい言葉使いとアクセントの習得。 ・朗読を通じ、文章の読み取り、話の構築、相手に伝える表現力を学ぶ。							
【教員の略歴】 関西にてイベント司会、ナレーション、朗読、企業向け話し方指導などを中心に活動。							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・声チェック		①	MC:進行する①	
②	基本的文法・取り組み方		②	MC:進行する②	
③	短文を越えに出して読む①		③	MC:進行する③	
④	短文を越えに出して読む②		④	朗読基礎①	
⑤	短文を越えに出して読む③		⑤	朗読基礎②	
⑥	物語を理解する①		⑥	朗読基礎③	
⑦	物語を理解する②		⑦	朗読①	
⑧	物語を理解する③		⑧	朗読②	
⑨	物語を声に出して読む①		⑨	朗読③	
⑩	物語を声に出して読む②		⑩	朗読④	
⑪	物語を声に出して読む③		⑪	朗読⑤	
⑫	テスト	前期試験	⑫	テスト	後期試験
⑬	MC:マイクを通して話す		⑬	発表①	
⑭	MC:台本を読む①		⑭	発表②	
⑮	MC:台本を読む②		⑮	発表③	
準備学習 時間外学習	本をたくさん読んでください。		評価方法	出席・実技・レポート・授業態度・筆記テストで総合判断	
受講生への メッセージ	誰にでも伝わる発音・発声を身に着け、 美しい日本語に興味を持ってください。		使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典(必携)・国語辞典・手鏡	

2020年度 授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 1. 更なる基礎体力の向上 2. 舞台用語への理解 3. ミュージカル 4. 演じる事の楽しさを学ぶ 5. 譜読み 6. 音楽的知識向上							
【到達目標】 表現力を身につける。 演技・ダンス・歌を総合的に表現できるスキルを身につける。							
【教員の略歴】 ミュージカル多数出演地方テーマパーク メインシンガー バレードMC、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	目的意識向上 腹式呼吸法 表現力強化	①	腹式呼吸法 母音法 課題について
②	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	②	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
③	腹式呼吸法 柔軟基礎 表現力強化 試験課題練習	③	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
④	腹式呼吸法 リズム感 行動力強化 試験課題練習	④	腹式呼吸法 ダンス基礎 演技基礎
⑤	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化 試験課題練習	⑤	腹式呼吸法 協調性強化 感情表現
⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 表現力強化 試験課題練習	⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑦	試験課題練習 腹式呼吸法 体力強化	⑦	腹式呼吸法 演技基礎 試験課題練習
⑧	試験課題練習 腹式呼吸法 表現力強化	⑧	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑨	腹式呼吸法 試験課題練習	⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習
⑩	腹式呼吸法 母音法 試験課題練習	⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習
⑪	腹式呼吸法 母音法 ダンス基礎	⑪	後期試験
⑫	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化	⑫	目的意識の再確認 腹式呼吸法
⑬	目的意識向上 腹式呼吸法 母音法	⑬	腹式呼吸法 母音法 課題について
⑭	前期試験	⑭	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
⑮	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	⑮	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
準備学習 時間外学習	日々の鍛錬、基礎体力向上 柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験 出席率 受講態度 課題へ取り組む姿勢 集団行動能力 コミュニケーション能力の有無
受講生への メッセージ	身体表現の大切さ舞台に立つ姿勢、 覚悟等心を動かす楽しさを共に学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ポップスやアニメソング、 映画音楽ミュージカル楽曲(ミス・サイゴン、美女と野獣等)

2020年度 授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アテレコの実践 ・キャラクター作り ・マイクを効果的に使った表現方法 ・スタジオマナー ・アテレコならではの演技技術 ・マネージャー目線からのタレント 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。 ・即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アニメ作品にメインキャラクターとして出演し、活躍中。 							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介	①	アニメアテレコ
②	基礎レッスン①	②	アニメアテレコ
③	基礎レッスン②	③	アニメアテレコ
④	基礎レッスン③	④	アニメアテレコ
⑤	朗読	⑤	アニメアテレコ
⑥	朗読	⑥	アニメアテレコ
⑦	朗読	⑦	アニメアテレコ
⑧	朗読	⑧	アニメアテレコ
⑨	朗読	⑨	アニメアテレコ
⑩	前期試験実習	⑩	アニメアテレコ
⑪	アニメアテレコ	⑪	後期試験実習
⑫	アニメアテレコ	⑫	アニメアテレコ
⑬	アニメアテレコ	⑬	アニメアテレコ
⑭	アニメアテレコ	⑭	アニメアテレコ
⑮	アニメアテレコ	⑮	総括
準備学習 時間外学習	台本のチェック (読み方・アクセント・キャラ作りなど)	評価方法	学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め総合的に 評価する。
受講生への メッセージ	まずはプロになる為の一步を、しっかりとその身につけましょ う！	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典(任意)

2020年度 授業シラバス

科目名	舞台表現演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ストレッチ→筋トレ→授業内容に沿ったアイソレーション、リズムワーク→振付							
【到達目標】 ダンス&ヴォーカルを研究・考察しパフォーマンス力の向上。またクラスでの作品作りを行うことで協調性・コミュニケーション能力の向上 チームワーク力を養うことを目的とする。							
【教員の略歴】 アーティストバックダンサー、舞台多数出演、舞台振付演出等、様々な分野で活動中。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	イントロデュース(授業内容などについて説明)	①	応用①(前期内容復習)
②	基礎①(リズムワーク)	②	応用②(ベーシック)
③	基礎②(リズムワーク)	③	応用③(ベーシック)
④	基礎③(アイソレーション)	④	作品振付
⑤	基礎④(アイソレーション)	⑤	作品振付
⑥	基礎⑤(リズムワーク、アイソレーション応用)	⑥	作品振付
⑦	基礎⑥(リズムワーク、アイソレーション応用)	⑦	作品振付
⑧	基礎⑦(振付)	⑧	作品振付
⑨	基礎⑧(振付)	⑨	作品振付
⑩	基礎⑨(振付)	⑩	作品振付
⑪	基礎⑩(振付)	⑪	作品振付
⑫	基礎⑪(振付)	⑫	作品振付発表
⑬	振付テスト	⑬	意見シェア(テストを終えて)、後期応用振付
⑭	基礎⑫(振付)	⑭	後期応用振付
⑮	意見シェア(テストを終えて)、前期応用振付	⑮	前期後期まとめ
準備学習 時間外学習	一回一回の授業内容を復習し、練習すること	評価方法	出席率、前後期試験、授業を意欲的に取り組んでいるかを総合的に評価
受講生への メッセージ	何事も意欲的に取り組むことが大切です。私が経験してきたことを伝えます。自分にしかない個性を一緒に見つけていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	動きやすい服装、運動靴、タオル、飲み物

2020年度 授業シラバス

科目名	業界研修	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アテレコの実践 ・マイクを効果的に使った表現方法 ・発声滑舌 ・キャラクター作り ・台本読解 ・スタジオマナー 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。 ・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。 ・即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
東京：声優プロダクションに所属し声優としてまたマネージャーとして活躍。 大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中”							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	アテレコ用語・マイクワークの習得	①	アテレコ③・実習
②	アテレコ①・キャスティングオーディション	②	アテレコ③REC
③	アテレコ①・読み合わせ	③	アテレコ③REC
④	アテレコ①・実習	④	アテレコ③(キャスト変更)・実習
⑤	アテレコ①・REC	⑤	アテレコ③REC
⑥	アテレコ①・REC	⑥	アテレコ③REC
⑦	アテレコ②・キャスティングオーディション	⑦	アテレコ④・キャスト発表
⑧	アテレコ②・実習	⑧	アテレコ④・実習
⑨	アテレコ②・REC	⑨	アテレコ④・実習
⑩	前期試験	⑩	アテレコ④・実習
⑪	アテレコ③・キャスティングオーディション	⑪	後期試験
⑫	アテレコ③・キャスティングオーディション	⑫	アテレコ④・実習
⑬	アテレコ③・読み合わせ	⑬	アテレコ④・REC
⑭	アテレコ③・実習	⑭	アテレコ④・REC
⑮	アテレコ③・実習	⑮	アテレコ総括
準備学習 時間外学習	<p>アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。</p> <p>一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習してやる事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。</p>	評価方法	<p>学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それに対しどのレベルまで達成できているかで採点する。</p>
受講生への メッセージ	<p>長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りていない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。</p>	使用教科書 教材 参考書	<p>・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典 『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下記録音機材を使用 (R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本) 記載のない日は機材の準備の必要なし</p>

2020年度 授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> 収録現場で求められる演技の習得 外画を使った演技実習 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> プロの声優として、現場に立つためのアテレコ(アフレコ)スキル・心構え・現場マナーの習得 即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
声優のマネジメントやキャスティング、映画の配給まで行う声優プロダクションに所属し声優としてさまざまな作品に出演。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	アフレコの流れ説明	①	収録本番を想定した実習
②	収録題材を使つての実習	②	収録本番を想定した実習
③	収録題材を使つての実習	③	題材を使用した実習
④	収録題材を使つての実習	④	題材を使用した実習
⑤	収録題材を使つての実習	⑤	題材を使用した実習
⑥	収録題材を使つての実習	⑥	題材を使用した実習
⑦	収録題材を使つての実習	⑦	題材を使用した実習
⑧	収録題材を使つての実習	⑧	題材を使用した実習
⑨	収録題材を使つての実習	⑨	題材を使用した実習
⑩	収録題材を使つての実習	⑩	題材を使用した実習
⑪	前期試験実習	⑪	後期試験実習
⑫	キャストオーディション	⑫	題材を使用した実習
⑬	キャストオーディション	⑬	題材を使用した実習
⑭	収録題材を使つての実習	⑭	題材を使用した実習
⑮	前期まとめ	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	台本・使用教材の映像チェック (読み方・アクセント・キャラ作り、タイムコードなど)	評価方法	・試験・出席率 ・与えられた課題をクリアできているか
受講生への メッセージ	プロになる為に絶対的に必要なことは、当たり前のことを地道に出来るかです。それを、しっかりと習慣づけられるようにしましょう！	使用教科書 教材 参考書	題材 ・配布台本 ・教材DVD

2020年度 授業シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 コミュニケーションゲームを通して、人と話すのに必要な力を身につける							
【到達目標】 個人個人のコミュニケーション能力の向上を目的とする。							
【教員の略歴】 芸能プロダクション所属 俳優・お笑い・ラジオDJなどマルチに活動							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	自己紹介			①	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
②	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			②	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
③	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			③	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
④	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			④	コミュニケーションゲーム(テーマトーク)		
⑤	コミュニケーションゲーム(会話力を高める)			⑤	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑥	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑥	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑦	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑦	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑧	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑧	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑨	コミュニケーションゲーム(説明力を高める)			⑨	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑩	前期試験			⑩	コミュニケーションゲーム(グループワーク)		
⑪	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑪	後期試験		
⑫	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑫	コミュニケーションゲーム(伝えたいトーク)		
⑬	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑬	コミュニケーションゲーム(伝えたいトーク)		
⑭	コミュニケーションゲーム(質問力を高める)			⑭	コミュニケーションゲーム(伝えたいトーク)		
⑮	前期まとめ			⑮	振り返り		
準備学習 時間外学習	滑舌の練習を毎日してください。			評価方法	試験・出席率・授業態度・課題		
受講生への メッセージ	難しい事はやりません、楽しくフリートークを学んでいきましょう			使用教科書 教材 参考書	ホワイトボード		

2020年度 授業シラバス

科目名	ヴォイス&ボディトレーニング	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
1. 柔軟性のある体と心を鍛え、腹式を意識した発声 2. 舞台用語への理解 3. ミュージカル 4. 演じる事の楽しさを学ぶ							
【到達目標】							
・呼吸法、母音法、フレージング法の習得。 ・歌・演技・踊りを学ぶことで感情豊かな表現力を身につける。							
【教員の略歴】							
ミュージカル多数出演地方テーマパーク メインシンガー パレードMC、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	目的意識向上 腹式呼吸法 母音法	①	腹式呼吸法 母音法 課題について
②	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	②	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
③	腹式呼吸法 柔軟基礎 表現力強化	③	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
④	腹式呼吸法 リズム感 行動力強化	④	腹式呼吸法 ダンス基礎 演技基礎
⑤	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化	⑤	腹式呼吸法 協調性強化 感情表現
⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 表現力強化	⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑦	試験課題練習 腹式呼吸法 体力強化	⑦	腹式呼吸法 演技基礎 試験課題練習
⑧	試験課題練習 腹式呼吸法 表現力強化	⑧	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑨	試験課題練習 腹式呼吸法	⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習
⑩	腹式呼吸法 母音法 行動力	⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習
⑪	腹式呼吸法 母音法 ダンス基礎	⑪	目的意識の再確認 腹式呼吸法
⑫	前期試験	⑫	腹式呼吸法 母音法 課題について
⑬	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化	⑬	後期試験
⑭	目的意識向上 腹式呼吸法 母音法	⑭	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
⑮	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	⑮	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
準備学習 時間外学習	柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験 受講態度 課題へ取り組む姿勢 集団行動能力 コミュニケーション能力の有無
受講生への メッセージ	表現する事の大切さや舞台に立つ姿勢、 覚悟等必要なスキルを共に楽しみながら学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ポップスやアニメソング、 映画音楽ミュージカル楽曲(アイーダ等)

2020年度 授業シラバス

科目名	声優演習	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 声で感情表現、コントロールの技術を訓練し、より豊かな表現力を身につける。							
【到達目標】 ・常に主体性を持ち、あらゆるシーンに対応できる表現力の向上。							
【教員の略歴】 劇団、芸能プロダクションに所属し、様々な作品に出演している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション／感情開放・コントロールについて／エチュード	①	台本を使ったセリフ表現1
②	感情を表現すること	②	台本を使ったセリフ表現演技2
③	セリフから感情表現	③	台本を使ったセリフ表現演技3
④	感情開放	④	台本を使ったセリフ表現演技4
⑤	感情開放	⑤	台本を使ったセリフ表現演技5
⑥	感情開放	⑥	様々な台本での対応
⑦	感情をコントロールする	⑦	様々な台本での対応
⑧	感情の切り替え	⑧	様々な台本での対応
⑨	複雑な感情表現	⑨	様々な台本での対応
⑩	複雑な感情表現	⑩	様々な台本での対応
⑪	テスト	⑪	テスト
⑫	感情コントロール 表現	⑫	様々な台本での対応
⑬	感情コントロール 表現	⑬	様々な台本での対応
⑭	感情コントロール 表現	⑭	まとめ
⑮	前期 まとめ・復習	⑮	総評
準備学習 時間外学習	必要に応じて、指定個所のセリフを覚えてもらう場合があります。	評価方法	学期ごとの試験、また授業中の取り組む姿勢、出席率。
受講生への メッセージ	感情を声に表現することは、なかなか難しいと思います。最初から上手くやろうとせず、素直に感情を表現するところからスタートです。	使用教科書 教材 参考書	筆記用具・台本を配布

2020年度 授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アテレコの実践 ・マイクを効果的に使った表現方法 ・発声滑舌 ・キャラクター作り ・台本読解 ・スタジオマナー 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。 ・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。 ・即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
東京：声優プロダクションに所属し声優としてまたマネージャーとして活躍。 大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	アテレコ用語・マイクワークの習得	①	アテレコ③・実習
②	アテレコ①・キャストイングオーディション	②	アテレコ③REC
③	アテレコ①・読み合わせ	③	アテレコ③REC
④	アテレコ①・実習	④	アテレコ③(キャスト変更)・実習
⑤	アテレコ①・REC	⑤	アテレコ③REC
⑥	アテレコ①・REC	⑥	アテレコ③REC
⑦	アテレコ②・キャストイングオーディション	⑦	アフレコ①・キャスト発表
⑧	アテレコ②・実習	⑧	アフレコ①・実習
⑨	アテレコ②・REC	⑨	アフレコ①・実習
⑩	前期試験	⑩	アフレコ①・REC
⑪	アテレコ②・REC	⑪	後期試験
⑫	アテレコ③・キャストイングオーディション	⑫	アフレコ②・キャスト発表
⑬	アテレコ③・読み合わせ	⑬	アフレコ②・実習
⑭	アテレコ③・実習	⑭	アフレコ②・REC
⑮	前期 復習	⑮	アテレコ・アフレコ総括
準備学習 時間外学習	アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。 一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習してやる事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。	評価方法	試験・各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それに対してどのレベルまで達成できているかで採点する。
受講生への メッセージ	長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下録音機材を使用 (R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本) 記載のない日は機材の準備の必要なし

2020年度 授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 舞台を制作から出演まで自分たちで考えて実践する							
【到達目標】 舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる							
【教員の略歴】 舞台俳優・演出・脚本家として26年、年間100回の公演のプロデュース 劇団の代表							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	イベントにむけて ミーティングなど		①	キャスティング・台本を読み込む 1	
②	イベントにむけて 稽古		②	稽古	
③	イベントにむけて 稽古		③	稽古	
④	イベントにむけて 稽古		④	稽古	
⑤	イベントにむけて 稽古		⑤	リハーサル	
⑥	届かなかったラブレター		⑥	本番	
⑦	届かなかったラブレター		⑦	反省会	
⑧	12月の舞台にむけて ミーティングなど		⑧	キャスティング・台本を読み込む 2	
⑨	12月の舞台にむけて ミーティングなど		⑨	稽古	
⑩	長ゼリフのテスト(動きも考える)	前期試験	⑩	稽古	
⑪	12月の舞台にむけて 稽古		⑪	稽古	後期試験
⑫	12月の舞台にむけて 稽古		⑫	リハーサル	
⑬	12月の舞台にむけて 稽古		⑬	本番	
⑭	12月の舞台にむけて 稽古		⑭	反省会	
⑮	12月の舞台にむけて 稽古		⑮	1年間を振り返って	
準備学習 時間外学習	当たり前前に台本を丸ごと覚える毎日を		評価方法	技術よりも、試験、出席率(体調管理もプロの仕事)、授業態度(業界は礼儀・マナーが大切なので)	
受講生への メッセージ	芝居のことばかり考えている、そんな一年にして下さい。		使用教科書 教材 参考書		

2020年度 授業シラバス

科目名	オーディション対策	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 自己プロデュース能力を高め、声優・役者・タレントとしての自分の魅力を、客観性を持ちながら戦略的に伝える術を身につける。 また、一人ひとりの個性を活かしより豊かな自身の形成の為、何が必要か、何が足りていないかを自覚し身につけていくための習慣を考え、実践する。							
【到達目標】 ・自分のセールスポイントや強みを認識し、伸ばす。 ・様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。 ・オーディションに向け、ボイスサンプル・プロフィール作成・コンボ対策・面接対策を行う。							
【教員の略歴】 東京：声優プロダクションに所属し声優としてまたマネージャーとして活躍。 大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中”							

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	新人発掘プレゼンテーション対策①		①	合同オーディション実技・自己PR②	
②	新人発掘プレゼンテーション対策②		②	合同オーディション実技・自己PR③	
③	新人発掘プレゼンテーション反省		③	合同オーディション実技・自己PR④	
④	ボイスサンプルについて		④	合同オーディション反省・進路相談	
⑤	ボイスサンプル実習		⑤	3次オーディション対策・進路相談①	
⑥	ボイスサンプル原稿作成・実習①		⑥	3次オーディション対策・進路相談②	
⑦	ボイスサンプル原稿作成・実習②		⑦	卒業後の住まい・生活(東京の地理など)	
⑧	ボイスサンプル原稿作成・実習③		⑧	3次オーディション対策・進路相談③	
⑨	ボイスサンプル原稿作成・実習④		⑨	さまざまなオーディション実習①	
⑩	ボイスサンプル原稿・音源提出		⑩	さまざまなオーディション実習②	
⑪	ボイスサンプル実習	前期試験	⑪	オーディション 模擬試験	後期試験
⑫	自己分析・応募書類の書き方①		⑫	さまざまなオーディション実習③	
⑬	自己分析・応募書類の書き方②		⑬	さまざまなオーディション実習④	
⑭	合同オーディション実技・自己PR①		⑭	社会人としてのマナー	
⑮	前期 まとめ		⑮	卒業後に向けて	
準備学習 時間外学習	自己PR、ボイスサンプルともに、早め早めの準備を。 随時学内オーディションに対応するので、該当学生は下読みなどしてくる事。		評価方法	実習での取り組み姿勢 提出物の内容、期限内提出 発表内容 出席率 試験	
受講生への メッセージ	今のあなたの中からしか、今のあなたしかいないものは生まれません。 とにかく何か考えて作ってみて下さい。中途半端でも不細工でも構いません。そこから、一人一人がより良い形を作れるようにしていきます。		使用教科書 教材 参考書	原稿作成や、自己PR案相談中は個々の対応時間が多くなる為、各自自習や原稿作成の材料などを用意して時間を有効活用すること。	

2020年度 授業シラバス

科目名	ナレーション	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
ナレーションは声そのものを磨くボイストレーニングと、その声でどう読み方をするかという技術を身に付ける事が大切です。ナレーションに必要なアナウンスの基礎を講義と実践を通して学びます。特に伝える技術を中心にして講義します。そして、声の高低、強弱、緩急を操り、表現するという面白さを学びましょう。また、標準語アクセントの習得、及び、国語力の習得を目指した「話す」ということを1年間を通して学んでいきます。							
【到達目標】							
ニーズに合わせたナレーションが読めるようになる。							
【教員の略歴】							
フリーアナウンサーとして活動。主にラジオのニュースやケーブルテレビの司会を長く務める。また、式典から各種イベントまで、様々なMCも経験。アナウンサーや声優などの講師を務める。近年では子供のアクティブラーニングから、大人のボイストレーニング・話し方まで、その幅を広げている。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	自己紹介・アクセント辞典の使い方	①	レポート・MC台本①	
②	ボイストレーニング①・基礎理論①	②	レポート・MC台本②	
③	ボイストレーニング②・基礎理論②	③	ドキュメンタリーナレーション①	
④	ボイストレーニング③・基礎理論③	④	ドキュメンタリーナレーション②・音楽に合わせて	
⑤	ボイストレーニング④・基礎理論④	⑤	朗読・群読①	
⑥	お知らせ・告知ナレーション①・天気予報	⑥	朗読・群読②	
⑦	お知らせ・告知ナレーション②	⑦	朗読・群読③	
⑧	20秒CM練習①	⑧	番組ナレーション①	
⑨	20秒CM練習②	⑨	番組ナレーション②	
⑩	アナウンス基礎の確認・実技テスト	⑩	番組ナレーション③	
⑪	ニュースの基礎①・ショートニュース①	⑪	ニュースのまとめ・実技テスト	後期試験
⑫	ニュースの基礎①・ショートニュース①	⑫	手紙・挨拶①	
⑬	ニュースの基礎②・ショートニュース②	⑬	手紙・挨拶①	
⑭	ニュースの基礎②・ショートニュース④	⑭	手紙・挨拶③	
⑮	話題・スポーツニュース	⑮	1年のまとめ・DVD鑑賞	
準備学習 時間外学習	ストレッチや発声など、毎日少しずつでも良いので習慣にしてください。またテレビやラジオなど、意識して聞いてください。アクセントなど、疑問に思ったら、すぐに調べる事が大切。	評価方法	出席・授業態度、実技試験で評価します。	
受講生への メッセージ	ナレーションの基礎は「話す」ということにあります。友達と話すとき、アルバイト先で話すとき、常に意識して美しい日本語を使いましょう。まずはプロになる自覚、意識を持つことです。	使用教科書 教材 参考書	NHKアクセント辞典・基礎プリント(坂下オリジナル、約15枚組)	

2020年度 授業シラバス

科目名	ラジオパーソナリティー	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ラジオ＆テレビの誕生から現在までの歩みを理解し、放送・映像の役割を学ぶ。優良番組や懐かしの番組も聴く・見る							
【到達目標】 放送業界の世界や成り立ちなど学び理解することによって放送業界で活躍できる人物を育てる							
【教員の略歴】 ラジオ局で制作・報道・スポーツ・営業で社員として勤務。その後フリーディレクターとしてFM、AMラジオ局で働く							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	放送局の種類と形態	①	テレビ放送の誕生	
②	近畿のラジオ局について	②	NHKテレビの変遷	
③	海外のラジオ放送誕生	③	映像の成り立ち	
④	NHKラジオ放送の開始	④	映像制作とは	
⑤	民放ラジオ局の誕生	⑤	民放テレビの発展・変遷	
⑥	ラジオ初期の番組①	⑥	CMソングの変遷	
⑦	ラジオ初期の番組②	⑦	効果的なCMとは？	
⑧	ラジオ初期の番組③	⑧	民放の収入、広告会社	
⑨	ラジオ番組の発展と変遷①	⑨	放送業界＆業界用語について	
⑩	筆記試験	前期試験	⑩ 映像制作に必要な事	
⑪	映像の基礎	⑪	筆記試験	後期試験
⑫	映像の基礎	⑫	震災関連ラジオ番組モニター	
⑬	放送と報道・娯楽	⑬	ラジオ自主作成	
⑭	番組編成、ネットワーク	⑭	発表	
⑮	民放コンクール・ラジオ優秀作品モニター	⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	まずとにかくラジオ(FM・AM問わず)を たくさん聴いて聴いて聴きまくる		評価方法	筆記試験、出席率
受講生への メッセージ	授業を真剣に受けないのは自分にとっての大きなマイナス、損 です		使用教科書 教材 参考書	

2020年度 授業シラバス

科目名	ラジオドラマ	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 グループに分け、模擬番組を作成&授業内で発表、総括する。							
【到達目標】 実際に15分から60分の番組ドラマを制作し、ラジオドラマ制作におけるスタジオワークを学んでもらう。							
【教員の略歴】 各FM局にて様々な番組を担当するディレクター							

前期		後期			
授業計画・内容		授業計画・内容			
①	自己紹介、番組概要説明 など	①	ラジオドラマ制作① 企画		
②	模擬番組制作① 企画	②	ラジオドラマ制作①		
③	模擬番組制作①	③	ラジオドラマ制作① リハーサル		
④	模擬番組制作① リハーサル	④	ラジオドラマ制作① 発表		
⑤	模擬番組制作① 発表	⑤	ラジオドラマ制作② 企画		
⑥	模擬番組制作② 企画	⑥	ラジオドラマ制作②		
⑦	模擬番組制作②	⑦	ラジオドラマ制作② リハーサル		
⑧	模擬番組制作② リハーサル	⑧	ラジオドラマ制作② 発表		
⑨	模擬番組制作② 発表	⑨	ラジオドラマ制作③ 企画		
⑩	模擬番組制作③ 企画	⑩	ラジオドラマ制作③		
⑪	模擬番組制作③ 試験	前期試験	⑪	ラジオドラマ制作③ リハーサル 試験	後期試験
⑫	模擬番組制作③ リハーサル	⑫	ラジオドラマ制作③ 発表		
⑬	模擬番組制作③ 発表	⑬	ラジオドラマ 総評・アドバイス		
⑭	模擬番組 総評・アドバイス	⑭	1年間を振り返って		
⑮	前期のまとめ	⑮	プロの現場について		
準備学習 時間外学習	たくさん作品に触れてください。		評価方法	番組制作を通じての評価はもちろん、チームワークを必要とする作業も多いので、試験や出席日数や連絡の有無、授業態度も評価対象とします。	
受講生への メッセージ	実践重視の授業です。様々なことを学んでいきますが、「プロの現場」と「授業で学ぶ内容」は同じことが多いので、卒業後、即戦力になるためにも高い意識を持って臨んでほしいです。		使用教科書 教材 参考書		

2020年度 授業シラバス

科目名	MC&レポート・実況	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
ボイスタレントとしてのステージングやパフォーマンス力の構築を目指す。							
【到達目標】							
MC・レポート・実況に応用できる様々なパフォーマンスを習得する。 また、マナー・モラルの教育を通して、人間力を高める。							
【教員の略歴】							
ラジオ局でラジオパーソナリティとしても活躍。イベント司会などもこなし、声優やCMナレーターとしても活動する。							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	1年時の復習			①	前期の復習		
②	状況の研究①			②	オリジナルなステージング構築の演習⑤		
③	状況の研究②			③	オリジナルなステージング構築の演習⑥		
④	状況の研究③			④	MC・実況のトレーニング①		
⑤	状況の研究④			⑤	MC・実況のトレーニング②		
⑥	状況の研究⑤			⑥	MC・実況のトレーニング③		
⑦	ステージング実践①			⑦	MC・実況のトレーニング④		
⑧	ステージング実践②			⑧	MC・実況のトレーニング⑤		
⑨	ステージング実践③			⑨	ステージング応用実践①		
⑩	ステージング実践④			⑩	ステージング応用実践②		
⑪	実技試験		前期試験	⑪	実技試験		後期試験
⑫	オリジナルなステージング構築の演習①			⑫	ステージングMC応用実践		
⑬	オリジナルなステージング構築の演習②			⑬	ステージングMC応用実践②		
⑭	オリジナルなステージング構築の演習③			⑭	ステージングMC応用実践②		
⑮	オリジナルなステージング構築の演習④			⑮	まとめ		
準備学習 時間外学習	たくさん作品に触れてください。			評価方法	実技試験、出席率、授業態度。授業態度は特に重視する。		
受講生への メッセージ	オリジナリティがあり、かつ高度なステージングやパフォーマンスを身につけましょう。			使用教科書 教材 参考書	SM-58(マイク)、各自自前の楽器、筆記用具やスマートフォン、i-padなど。		

2020年度 授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 1. 更なる基礎体力の向上 2. 舞台用語への理解 3. ミュージカル 4. 演じる事の楽しさを学ぶ 5. 譜読み 6. 音楽的知識向上							
【到達目標】 表現力を身につける。 演技・ダンス・歌を総合的に表現できるスキルを身につける。							
【教員の略歴】 ミュージカル多数出演地方テーマパーク メインシンガー バレードMC、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	目的意識向上 腹式呼吸法 表現力強化	①	腹式呼吸法 母音法 課題について
②	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	②	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
③	腹式呼吸法 柔軟基礎 表現力強化 試験課題練習	③	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
④	腹式呼吸法 リズム感 行動力強化 試験課題練習	④	腹式呼吸法 ダンス基礎 演技基礎
⑤	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化 試験課題練習	⑤	腹式呼吸法 協調性強化 感情表現
⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 表現力強化 試験課題練習	⑥	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑦	試験課題練習 腹式呼吸法 体力強化	⑦	腹式呼吸法 演技基礎 試験課題練習
⑧	試験課題練習 腹式呼吸法 表現力強化	⑧	腹式呼吸法 歌唱基礎 試験課題練習
⑨	腹式呼吸法 試験課題練習	⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習
⑩	腹式呼吸法 母音法 試験課題練習	⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習
⑪	腹式呼吸法 母音法 ダンス基礎	⑪	後期試験
⑫	腹式呼吸法 歌唱基礎 記憶力強化	⑫	目的意識の再確認 腹式呼吸法
⑬	目的意識向上 腹式呼吸法 母音法	⑬	腹式呼吸法 母音法 課題について
⑭	前期試験	⑭	腹式呼吸法 母音法 歌唱基礎
⑮	腹式呼吸法 母音法 行動力強化	⑮	腹式呼吸法 母音法 コーラスワーク
準備学習 時間外学習	日々の鍛錬、基礎体力向上 柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験 出席率 受講態度 課題へ取り組む姿勢 集団行動能力 コミュニケーション能力の有無
受講生への メッセージ	身体表現の大切さ舞台に立つ姿勢、 覚悟等心を動かす楽しさを共に学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ポップスやアニメソング、 映画音楽ミュージカル楽曲(ミス・サイゴン、美女と野獣等)

2020年度 授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アテレコの実践 ・キャラクター作り ・マイクを効果的に使った表現方法 ・スタジオマナー ・アテレコならではの演技技術 ・マネージャー目線からのタレント 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。 ・即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
<ul style="list-style-type: none"> ・人気アニメ作品にメインキャラクターとして出演している。 							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介	①	アニメアテレコ
②	基礎レッスン①	②	アニメアテレコ
③	基礎レッスン②	③	アニメアテレコ
④	基礎レッスン③	④	アニメアテレコ
⑤	朗読	⑤	アニメアテレコ
⑥	朗読	⑥	アニメアテレコ
⑦	朗読	⑦	アニメアテレコ
⑧	朗読	⑧	アニメアテレコ
⑨	朗読	⑨	アニメアテレコ
⑩	前期試験実習	⑩	アニメアテレコ
⑪	アニメアテレコ	⑪	後期試験実習
⑫	アニメアテレコ	⑫	アニメアテレコ
⑬	アニメアテレコ	⑬	アニメアテレコ
⑭	アニメアテレコ	⑭	アニメアテレコ
⑮	アニメアテレコ	⑮	総括
準備学習 時間外学習	台本のチェック (読み方・アクセント・キャラ作りなど)	評価方法	学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め総合的に 評価する。
受講生への メッセージ	まずはプロになる為の一步を、しっかりとその身につけましょ う！	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典(任意)

2020年度 授業シラバス

科目名	舞台表現演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 授業を通じて「殺陣」とはお芝居であるということと同時に、決して自分ひとりでは出来たものではなく、人との協力、思いやりが不可欠であるということと、自分の可能性を信じ技術力・表現力の向上を目指し、努力することの必要性・重要性を認識させる							
【到達目標】 ・「殺陣」を学ぶことで、体づくりや、舞台上やカメラ前で「魅せる」ことを習得する。 ・授業内で得た感覚と経験を演技に活かす。							
【教員の略歴】 映画撮影所にて 殺陣師 数々の映画・ドラマ等担当。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	1年生で学んだことの復習	①	前期の復習
②	1年生で学んだことの復習	②	お芝居の動きなどを取り入れた殺陣
③	応用の動きに欠かせない基礎の動きの習得	③	お芝居の動きなどを取り入れた殺陣
④	応用の動きに欠かせない基礎の動きの習得	④	お芝居の動きなどを取り入れた殺陣
⑤	応用の動きに欠かせない基礎の動きの習得	⑤	お芝居の動きなどを取り入れた殺陣
⑥	実際に手を付けて一連の動きを習得する	⑥	表現力向上を意識した一対一、一対多数の立ち回り
⑦	実際に手を付けて一連の動きを習得する	⑦	表現力向上を意識した一対一、一対多数の立ち回り
⑧	実際に手を付けて一連の動きを習得する	⑧	表現力向上を意識した一対一、一対多数の立ち回り
⑨	実際に手を付けて一連の動きを習得する	⑨	表現力向上を意識した一対一、一対多数の立ち回り
⑩	前期試験	⑩	表現力向上を意識した一対一、一対多数の立ち回り
⑪	刀以外の武器を使った一連の殺陣	⑪	後期試験
⑫	刀以外の武器を使った一連の殺陣	⑫	刀以外も使った一対多数の立ち回り
⑬	刀以外の武器を使った一連の殺陣	⑬	刀以外も使った一対多数の立ち回り
⑭	刀以外の武器を使った一連の殺陣	⑭	刀以外も使った一対多数の立ち回り
⑮	前期まとめ	⑮	一年間のまとめ
準備学習 時間外学習	基礎体力作り	評価方法	試験・授業に対する姿勢及び向上心を前期・後期通じて評価
受講生への メッセージ	殺陣を通じてお芝居、声優に必要な戦い中の声などを実際に体を動かしながら学んでいきましょう。	使用教科書 教材 参考書	木刀・短刀・棒など

2020年度 授業シラバス

科目名	業界研修	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・アテレコの実践 ・マイクを効果的に使った表現方法 ・発声滑舌 ・キャラクター作り ・台本読解 ・スタジオマナー 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。 ・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。 ・即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
東京：声優プロダクションに所属し声優としてまたマネージャーとして活躍。 大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中”							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	アテレコ用語・マイクワークの習得	①	アテレコ③・実習
②	アテレコ①・キャスティングオーディション	②	アテレコ③REC
③	アテレコ①・読み合わせ	③	アテレコ③REC
④	アテレコ①・実習	④	アテレコ③(キャスト変更)・実習
⑤	アテレコ①・REC	⑤	アテレコ③REC
⑥	アテレコ①・REC	⑥	アテレコ③REC
⑦	アテレコ②・キャスティングオーディション	⑦	アテレコ④・キャスト発表
⑧	アテレコ②・実習	⑧	アテレコ④・実習
⑨	アテレコ②・REC	⑨	アテレコ④・実習
⑩	前期試験	⑩	アテレコ④・実習
⑪	アテレコ③・キャスティングオーディション	⑪	後期試験
⑫	アテレコ③・キャスティングオーディション	⑫	アテレコ④・実習
⑬	アテレコ③・読み合わせ	⑬	アテレコ④・REC
⑭	アテレコ③・実習	⑭	アテレコ④・REC
⑮	アテレコ③・実習	⑮	アテレコ総括
準備学習 時間外学習	<p>アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。</p> <p>一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習してやる事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。</p>	評価方法	<p>学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それに対しどのレベルまで達成できているかで採点する。</p>
受講生への メッセージ	<p>長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。</p>	使用教科書 教材 参考書	<p>・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典 『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下記録音機材を使用 (R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本) 記載のない日は機材の準備の必要なし</p>

2020年度 授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
<ul style="list-style-type: none"> 収録現場で求められる演技の習得 外画を使った演技実習 							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> プロの声優として、現場に立つためのアテレコ(アフレコ)スキル・心構え・現場マナーの習得 即戦力となる声優を目指す。 							
【教員の略歴】							
声優のマネジメントやキャスティング、映画の配給まで行う声優プロダクションに所属し声優としてさまざまな作品に出演。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	アフレコの流れ説明	①	収録本番を想定した実習
②	収録題材を使つての実習	②	収録本番を想定した実習
③	収録題材を使つての実習	③	題材を使用した実習
④	収録題材を使つての実習	④	題材を使用した実習
⑤	収録題材を使つての実習	⑤	題材を使用した実習
⑥	収録題材を使つての実習	⑥	題材を使用した実習
⑦	収録題材を使つての実習	⑦	題材を使用した実習
⑧	収録題材を使つての実習	⑧	題材を使用した実習
⑨	収録題材を使つての実習	⑨	題材を使用した実習
⑩	収録題材を使つての実習	⑩	題材を使用した実習
⑪	前期試験実習	⑪	後期試験実習
⑫	キャストオーディション	⑫	題材を使用した実習
⑬	キャストオーディション	⑬	題材を使用した実習
⑭	収録題材を使つての実習	⑭	題材を使用した実習
⑮	前期まとめ	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	台本・使用教材の映像チェック (読み方・アクセント・キャラ作り、タイムコードなど)	評価方法	・試験・出席率 ・与えられた課題をクリアできているか
受講生への メッセージ	プロになる為に絶対的に必要なことは、当たり前のことを地道に出来るかです。それを、しっかりと習慣づけられるようにしましょう！	使用教科書 教材 参考書	題材 ・配布台本 ・教材DVD